

新型コロナで疲弊した経済、市長の回復策は？

デジタル化が進む社会を視野に、地元企業支援施策に全力をつくす



北野 唯道 議員

問 新型コロナウィルスの影響により疲弊しきった地域経済の回復策について、市長は今後どのように取り組んでいく考えなのか伺う。

答 デジタル化が進むアフターコロナの社会を模索しつつ、当面は感染予防と地域経済のバランスを取りつつ、地元企業を支援する各種施策に全力で取り組む。

問 新型コロナウィルス感染症に関する支援策のうち、子育てに係る主な支援の利便状況について。

答 子育て世帯への臨時特別給付金は感染症が流行するなか、学校の臨時休業等により影響を受けた子育て世帯を支援するため、児童手当受給世帯に対し、児童一人当たり1万円を支給。支給状況は4156世帯、児童数7011名分で、7011万円を6月25日に支給している。

問 特別定額給付金の支給状況について。

答 給付対象は2万4951世帯、6万4411人で、給付実績は2万4875世帯、6万356人、給付金総額は60億3560万円である。



未来をつくるスマート農業推進事業の拡充を！

スマート農業の推進に努める



根本 建一 議員

問 これまでの実績を伺う。

答 昨年度は、農業用ドローン、GPS付きウイング800等5件、本年度は、密苗用田植機、農薬散布用ラジコンボート等5件の決定をしている。

問 農業者の高齢化により、担い手への集積の進行に伴い作業の効率化、省力化、低コスト化が新規就農者の促進対策にも大変重要となる。スマート農業はこのような農業の現状を踏まえロボット技術やICTを活用し、熟練農業者が行ってきた技術の再現、作業の省力化、効率化による大規模生産の実現、きつい作業危険な作業からの解放、誰もが取り組みやすい農業の実現が期待されていることから、来年度以降事業拡充をすべきであると考えがどうか。

答 スマート農業の導入は、農作業における省力、軽労化を図れるほか、栽培技術データを蓄積することによ

り、事業承継をスムーズに行うことができる。引き続きスマート農業の推進に努めていく。



GPS搭載トラクター実証実験の様子

都市基盤である主要道路の整備、市長の決意は？

地域の方々と一丸となって全力で取り組む



戸倉 宏一 議員

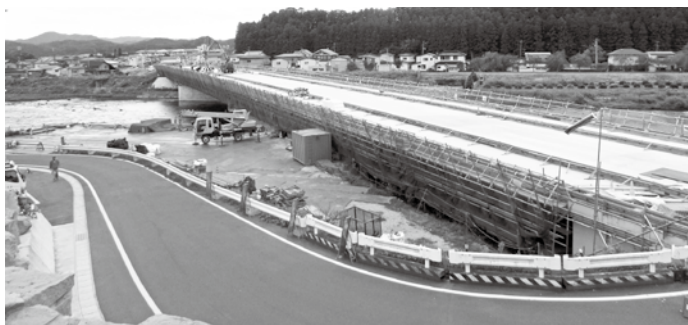
問 県南地方は主要道路の整備が遅れていると考えられる。国道4号4車線化に加え、白河中央スマートICや国道294号白河バイパス、国道289号整備の進展は、市長のリーダーシップによるものと手腕を高く評価している。改めて主要道路の整備について、市長の決意を伺う。

答 道路は社会資本の代表である。本市にとっても最重要課題と認識している。県南地域全体の持続的発展のために引き続き市議会や企業、町内会、住民の方々と共に地域一丸となって取り組んでいく。



国道294号白河バイパス
南湖トンネル

(10月16日名称公表)



国道294号白河バイパス
小峰大橋

(10月16日名称公表)

白河名山三山のトイレ事情を問う！

地域の関係者と現地調査を行う



緑川 摂生 議員

問 権田倉山・関山・天狗山観光や教育に対する今後の利活用を問う

答 コロナ禍の状況で三密を避ける体験が注目を集めている。より快適に何度も足を運んでもらえる場所になるよう、地域の方々と連携しながら三山の魅力向上に取り組む。また教育においては、地域の自慢や文化自然を調べる学習などに生かされている。今後もより一層郷土愛を育む教育を進めていく。

問 三山と周辺観光地を掲載したパンフレットを作成しPRに努めてはいかがか

答 三山を紹介するポスターや観光名所、飲食店など観光案内パンフレットの作成について地域の方々と協議して取り組んでいく。

問 三山のトイレ施設、現状及び重要性を伺う

答 関山は関辺市民体育館、天狗山は表郷総合運動公園、権田倉山は聖ヶ岩ヒジターセンターを案内。関山は登山道入口まで距離があるため、地域の関係者と現地調査などを行う。

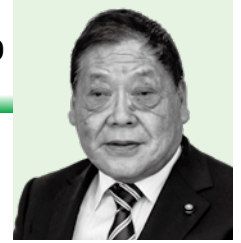


表郷より望む那須連山と関山の雄姿



日本一遅い山開きの天狗山

アフターコロナ、白河が注目されるための政策視点は？



二地域居住や子育て世代の希望を叶える施策を展開

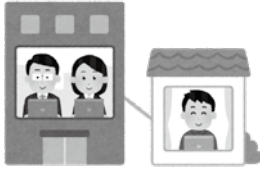
石名 国光 議員

問 コロナ感染者の急増でテレワークが導入され「東京でなくても仕事ができる」との雰囲気が出始め、首都圏で影響を強く受けている。これからは地方が大きくコロナズアップされると考え、注目される白河にするための政策視点を市長に伺う。

答 ①アフターコロナの政策の視点は、東京一極集中に変化が始め、サテライトオフィスや情報通信基盤を整備して白河で仕事ができるよう、交通の利便性を活かした二地域居住を推進する。

答 ②東京圏の転出超過現象を「地方に住みたい」と変えていくために産業の振興、雇用の場の確保、医療・教育の充実と子育て支援で若い世代の希望を叶える施策を展開していく。

答 ③暮らしやすさには、人間と人間が空間と時間を共有しお互いに共感することで得られる安心感や、地域社会に自分の力を活かせる充実感などが必要である。こうした考えを基軸とし、バランスのとれたまちづくりを進め、暮らしやすい白河を目指していく。



コロナ禍における今後の文化振興のあり方は？

リアルな体験や感動が求められ、文化芸術の重要性が増すので力を注ぐ



室井 伸一 議員

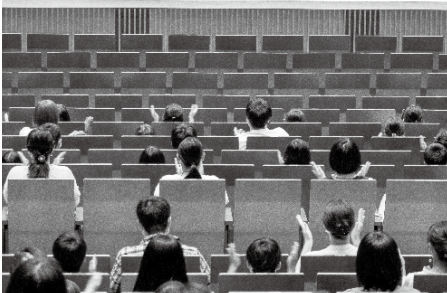
問 新しい生活様式の中で文化振興について

答 コロナ禍における新しい生活様式という制約の中にあっても、文化の火を灯し続けるため、感染症対策となる空調設備の改修をはじめ、市民に発表・鑑賞の場をつくる事業や施設使用料の補助制度を設けるなど、必要な策を講じてきた。アフターコロナの社会においては、時間と空間を共にして、音楽や演劇などリアルな体験を通じ感動をできる場がこれまで以上に求められる。社会から孤立しがちな人や社会的弱者など、多様な人々を包み込む社会的包摂性を有する文化芸術の

重要性がさらに増していくことから、引き続き、文化振興に力を注いでいく。

問 文化交流館コミネスの三密対策について

答 入館前の検温、風邪症状など体調不良の方の入場をお断りすること、施設内で社会的距離を保つこと、マスクの着用、手指消毒の励行を行っている。こまめな換気や定期的な消毒、入退場の分散化をしている。



コミネスでは入館前の検温、手指消毒、入退場の分散化など三密対策をして皆さんをお待ちしています

住みよさランキング県内1位等について

足元にある様々な資源を磨くこと



角郎 議員

問 住みよさランキング県内1位等を踏まえたまちづくりについて、市長に伺いたい

答 このランキングには、富裕度、利便度、安心度、快適度の4つの客観的指標から、本市は、いずれもが全体の中位以上に位置し、バランスのとれた都市として評価された。

問 中山義秀生誕120周年記念を踏まえた記念行事について

答 今年度の中山義秀文学賞の最終候補3作品も決定



中山義秀記念文学館

し、今後も、郷土が生んだ偉大な作家中山義秀の知名度を高める。

問 台風19号災害復旧について、復旧状況について伺う

答 農地、農業用施設の被災箇所は、補助事業と単独事業あわせて、農地が647件、農業用施設が1409件であり、被災直後から、全力で復旧に取り組む。

問 高齢者見守り生活支援事業について

答 高齢者が、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛や運転免許証の自主返納により、生活が不安定になり、要介護状態へ近づくことが懸念されるため



子どもたちが利用しやすいトイレの整備を

子ども用トイレの整備や、さらなる洋式化を検討する



裕哉 議員

問 全国的にも知名度の高い白河の関「関の森公園」には多くのファミリーが訪れている。現代のニーズに合ったトイレ整備を求める。

答 現在、管理棟内と遊具前の水車小屋隣にトイレが設置してあるが、洋式は男女共に一つ、多目的トイレの一つという状況である。多くの子供達が遊具を利用していることから、水車小屋隣には子供達の使いやすいトイレがあれば、なお快

い。



子供たちに大人気の「関の森公園」の遊具

適な場所となり利用者の利便性も高まる。管理棟内のトイレも含め子供用トイレの整備や更なる洋式化を検討していく。

問 登下校安全のための「見守り隊」。その現状と存続について伺う。

答 現在の登録者は906名。年々高齢化とともに、人員の減少も進んでいる。存続のために学校から保護者への協力依頼や町内会での募集をしている。また、見守り隊の方を学校行事に招待するなど、子供達から感謝の気持ちを伝えることも今後続けていく考えである。



いじめ対策、心のケアや解決に向けての対応は？

委員会を立ち上げ調査解明し、心の不安に寄り添った対応をする



佐川 京子 議員

問 五箇中の今後について

答 今後、統合については市教育委員会が主体となり、これまでの検討結果なども踏まえ整理検討し、不安解消を図る手立てや統合時期を検討し、検討した結果を保護者及び地域住民に説明していく。



問 いじめ対策について

答 平成30年3月に「子どもものいじめ防止条例」を制定し、その条例を受け、「いじめ防止基本方針」を

策定し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。重大事態が発生したときは、「いじめ防止対策委員会」を立ち上げ、市長が再度調査が必要と判断したときは、「いじめ調査委員会」で第三者により調査を行う。



問 旧脇本陣蔵座敷前の働工場について

答 大規模補強が必要なため、地域住民等の意見を踏まえ、改築か解体か具体的方策を検討していく。

問 公共施設整備について

答 高齢者や体が不自由な方にアンケート調査の実施や検討委員会への参加や施工状況の確認機会の確保に努める。

コロナ感染で差別、偏見、誹謗中傷あってはならない

思いやりの心で互いに支える白河へ。市長が直接市民に語りかける。



高橋 光雄 議員

問 コロナ感染はやっかいである。原発事故で県民は差別や偏見、誹謗中傷を受けた。コロナ感染者に同じことがあってはならない。これからも市長は直接市民に語りかける必要がある

答 市は、医療資材の支援や発熱外来等、医療体制の整備をしてきた。また、差別的言動による孤立をなくし、お互いに支えあう住みよい地域社会を実現するため「白河市思いやり条例」を追加提案する。引き続き感染防止対策を進めるとともに、感染された方を差別するような空気が生まれないよう、適宜、市長が直接市民に語りかける。

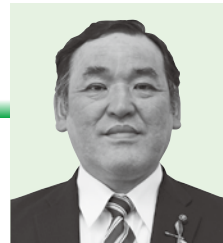


問 コロナで出足を挫かれたかたの感もあるが、渋沢翁と楽翁公との関わりを踏まえた本市PRのための実行委員会の活動について

答 7月25日に第1回総会を開き、南湖公園魅力発信事業実行員会を設立するとともに今年度事業を決めた。また、渋沢翁が力を入れた福祉事業は、楽翁公の影響が大きかったこと等、外部へ発信する。

野良猫問題、不妊虚勢手術も含め解決するべきでは？

ボランティア団体と連携を図る。動物愛護を呼びかける。



大竹 功一 議員

問 新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行期に入る。発熱外来の対応は万全になっているのか。

答 白河医師会を通じ、医師の増員も含め対応を協議している。現在、万全の体制を作るべく協議していく。

問 本年は、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の更新時期だと思われるが、現在の進捗状況はどうか。

答 本来であれば、市民のニーズ等の調査が終了し、協議会等に報告する時期ではあるが、今般の新型コロナウイルスの影響で事業が

遅れている。ただ、今年度中には協議会より答申を受け議会にも報告できるように努めたい。

問 9月20日から26日は動物愛護週間である。福島県内では野犬・迷い犬等の殺処分数は減少しているが野良猫及び迷い猫等の殺処分数は全国1・2位と言われている。白河市内の苦情等はどうなっているのか。

答 担当課には、数件の野良猫に関する苦情が寄せられている。現在、ボランティア団体と連携し対応している。

子育て世帯の悩み。児童クラブに入会可能な学年が制限されている！

要因は入会する児童数の増、そして支援員不足



大木 絵理 議員

問 児童クラブの現状を伺う。

答 今年度から新たに預かることができなくなった児童クラブは白一小の5・6年生。白二小の4年生。白三小の4・6年生。白四小の5・6年生。白五小の5・6年生。みさか小の4年生である。要因としては、入会する児童数の増加及び支援員不足である。

問 児童クラブ職員への独自調査の結果、様々な課題や要望が明確になった。市としてどのように対応するのか。

答 施設改修や建設の検討、研修の実施、障がい児保育指導員の訪問指導等を行い、支援員が働きやすい環境を整備していく。

問 市民検診を予約制にし、子ども連れでも受診可能にしてほしい。

答 電話とホームページから予約できるように整備する。また、検診場所にて託児可能であることを周知していく。



市民検診を実施している中央保健センター

問 2月に行われたマイタウンのアンケート結果について。

答 結果を受け、環境整備等の改善を進めている。駐車場についてはワーキンググループを立ち上げ、検討が始まったところである。

SDGs（持続可能な開発目標）市の考えは？

SDGsの考え方に沿った施策を推進するため調査研究する



荒井 寿夫 議員

問 本市の地域計画の最新版に非常に形式的な形でSDGs（持続可能な開発目標）が掲載されたが、市の考えは

答 本市はこれまでSDGsの理念に合致する住民福祉の増進の具体的施策を展開してきたが、今後モータークロナ社会を見据えたSDGsの考え方に沿った施策を推進してまいりたい。

問 本市の新たな環境基本計画案とSDGsの関係、国の第五次計画の示す再工業活用による持続可能な地域づくりの位置づけはどうか



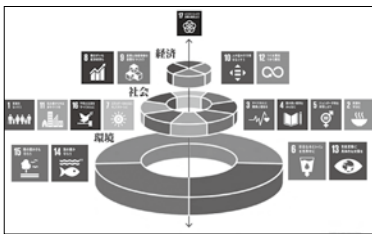
答 新計画ではSDGsの考え方を反映する形で策定し、地域資源依拠の再工業活用を盛り込みたい。

問 本市の具体的適用は木質バイオマスと営農型太陽光発電の地産地消による農業振興を目指すべきではないか

答 有効と考え関係部局横断的連携で調査研究する。

問 多文化共生として外国人住民対象の公的な日本語教室開設が今こそ必要では

答 ニーズや実態踏まえ国際交流協会と連携し検討する。



100年前のスペイン風邪を教訓に

県内最初の誹謗中傷を禁ずる条例を制定



柴原 隆夫 議員

問 日本は今から100年前にスペイン風邪で50万人が死亡し、国民の4割もがウイルスに感染した。今、この先人の尊い教訓を活かす時です。また、コロナ感染者やその家族の悪口や責めを受けたり、学校では「いじめ」が起こっている。コロナに感染した巨人軍の坂本選手らは、一般人よりかなり厳しく行動が管理されている。いかに気をつけても「誰もが感染する可能性」がある。コロナ感染者への誹謗中傷への対策が必要では。

答 地球の温暖化により、今年7月の熊本県地方豪雨のように記録的な大雨が毎年発生し、多くの犠牲者が出ている。特に夜間や早朝の避難は危険が伴う。命を守る避難勧告を早目に出すことが大切かと思うが

問 県内で最初に「思いやり条例」を制定し感染者への中傷や差別をなくし、住みよい地域社会の実現を目指す。

答 県内で最初に「思いやり条例」を制定し感染者への中傷や差別をなくし、住みよい地域社会の実現を目指す。



GIGAスクール構想とは？

子どもたちの創造性を育むICT(情報通信技術)教育環境を実現すること

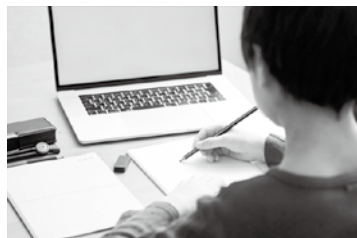


深谷 弘 議員



問 コロナ禍のなか、自宅で授業が受けられるオンライン学習の必要性を感した。現在、全ての小中学生にタブレット端末を配備するなどハード面での環境整備が進められているが、背景には国のGIGAスクール構想がある。この構想はどういうものか。

答 Aいやビッグデータ、ロボットなど、最先端のICT(情報通信技術)の進展は著しく、子どもの教育にはICTの効果的活用が求められる。世界から遅れないよう、全国の児童生徒一人一台の端末と、学校内に通信ネットワークを整備するため打ち出された。ねらいは、積み上げられてきた教育実践とICTを組み合わせ、子どもの持てる力や教師の指導力を引き出すこと。



問 ICTを使った教育を実践するのは教職員である。教職員への指導援助はどうなるのか。

答 教員の不安には、先進校で機器操作や活用方法の研究を行い、各学校で研修する。ICT支援員の配置も行う。

議員提出議案・請願・陳情・意見書

9月定例会で審査された議員提出議案・請願・陳情・意見書について、その内容と結果についてお知らせします。

◇議員提出議案

案件番号	案 件 名	議決結果
意見書案第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決(全会一致) 関係機関に意見書を提出しました。
意見書案第5号	多核種除去設備(ALPS)等処理水の処分決定に関する意見書	可決(全会一致) 関係機関に意見書を提出しました。

💡 議員提出議案…市長提出議案に対し、議員が議長に提出する議案のこと。原則として2人以上の議員の賛同により、提出できることになっています。

◇請願議案

案件番号	案 件 名	議決結果
請願第4号 DAPPA(平和と平等を守る民主主義アクション)	東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水(アルプス処理水)の海洋放出に反対する意見書提出を求める請願	趣旨採択(全会一致) 議員提出意見書案を提出する。

💡 趣旨採択…請願の願意については十分に理解できるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に採られる請願に対しての決定の方法。請願や陳情に対する表決は、採択か不採択の2種類とされますが、請願や陳情の趣旨を生かすために行う方法。請願や陳情の「趣旨には賛同するが、事情の好転(財政事情等)を待って実現すべきである」という意味での議決を示します。

◇陳情議案

案件番号	案 件 名	議決結果
陳情第1号 新日本婦人の会・白河支部・花みずき班「学校給食を無料にする白河の会」	新型コロナ支援金を使い白河市立の公立小中学校の給食費を無料にすることを求める陳情	不採択(賛成なし)